

区の課題解決への取組状況等について

	溝口駅周辺放置自転車等対策	溝口駅南口周辺地区の総合的整備	二ヶ領用水久地円筒分水の環境整備及び保存	安全・安心のまちづくり	その他
概要	<p>溝口駅周辺の放置自転車等の台数は、全国でワースト5となっている。南口地区では放置禁止区域の指定に伴い駐輪場の新設や撤去活動、キャンペーン等が行われ改善が図られているが、北口地区については依然として厳しい状況にある。</p> <p>放置自転車等を減少させるためには駐輪場の整備が不可欠であるが、特に北口については駐輪場の数が南口の半数以下と絶対的に不足している。また、大規模マンションの建設や東急大井町線の乗り入れ等大幅な増加要因も予想されることなどから、北口での駐輪場の新設が緊急かつ重要な課題となっている。</p>	<p>区を中心であり市の拠点でもある溝口駅周辺は、北口地区の再開発が平成10年度に完了したが、南口地区については公共基盤整備が大幅に立ち遅れ雑然とした街なみのまま現在に至っている。19年度から2カ年計画で南口駅前広場の整備が予定されているが、新総合計画の基本施策である「個性ある利便性の高い地域生活拠点の整備」を行うためには、駅前広場の整備事業を中心とした拠点機能向上への取組だけでなく、周辺地区を含めた南口地域一帯の整備に総合的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>そのためには、全国でもワースト5となっている放置自転車問題への対応やバリアフリーの推進など広範な利用者層に対応した駅前空間の整備をはじめ、周辺の自然環境や文教ゾーンにふさわしい景観の形成、歴史・文化的資源の保全、活用など解決すべき課題が輻輳している。</p>	<p>川崎市初の登録有形文化財に指定されている円筒分水は、高津区のシンボルであり、区民憩いの親水空間としてイベントの開催なども行われている。水と緑の自然と二ヶ領用水の歴史、文化の調和した美しい環境の保全及び地域に愛着と誇りの持てる魅力的な景観の形成に向けて、周辺環境を含めた公園化など総合的な整備に取り組んでいく必要がある。</p> <p>円筒分水は、現在も使用されている貴重な農業施設であり、また、歴史文化遺産であるが、昭和16年の建造から60年余り経つ中で、ひび割れやコンクリートの表面が剥がれ落ちるなど劣化が進行している。施設を保存していくためには、コンクリート強度の測定や中性化試験など本格的な点検、補修を早急を実施する必要がある。</p>	<p>区内の犯罪発生状況は、「ひったくり」の件数が県内で4番目に多く、また、空き巣、オートバイの盗難等多発している。市民意識実態調査においても、「治安が悪くなった」という回答が麻生区に次いで多く、43%となっている。</p> <p>近隣関係の希薄化など地域における防犯力の低下が懸念される中、安全で安心なまちづくりに向けて、「市民協働」の拠点である区役所を中心に警察や区民との連携により防犯対策への取組を進めていく必要がある。</p>	
第1回区民会議意見等	<p>旧平瀬川跡地について、「都市計画マスタープラン区民提案」などでは親水空間や緑道としての整備の考え方が出されている。駐輪場としての活用については、様々な検討を経た中で最終手段として検討してほしい。</p>	<p>整備の内容について、区民の意見等はどのように反映されるのか？</p> <p>整備に伴うバリアフリー対策について、各種団体の要望等をきちんと取り入れてほしい。</p> <p>放置自転車について、南口では数字上に現れない放置も多いので、対策を行う必要がある。</p>	<p>円筒分水の劣化状況が厳しいので、保存・整備工事を前倒しで行ってほしい。周辺の整備についても、区民の意見を取り入れてほしい。</p> <p>水飲み場や手洗い、駐車スペースの整備が必要である。</p>	<p>防犯パトロールへの行政による支援として、ベストや腕章は行き渡ってきたが、指示灯などについても加味してほしい。</p> <p>性犯罪的なものに対する防犯体制も今後検討していく必要がある。</p> <p>住宅の耐震診断の無料化なども検討していく必要がある。</p> <p>登下校のパトロールへの町会の協力をお願いしたい。</p>	<p>子育てと地域の連携や高齢者支援についても、区民会議の中で課題として取り上げてほしい。</p> <p>よそから来た人に親切にする区民運動を提案したい。</p>
庁内調整の状況等	<p>駐輪場の不足により厳しい状況にある北口地区の放置自転車問題に対応するため、18年度に旧平瀬川跡地の駅至近の場所に駐輪場を整備することとし、関係局との合意形成を図り、サマレビューでの調整を行った。18年度予算要求で駐輪場建設工事に伴う経費を計上し、オ・タムレビューでの調整を行った。18年度実施</p> <p>旧平瀬川跡地全体の活用については、18年度に区民意見を反映させた整備計画を策定するため、検討委員会を開催する。18年度実施</p> <p>溝口駅における自転車共用システムの実施可能性について、区民からの提案を受け、18年度予算要求で調査に伴う経費を計上し、オ・タムレビューでの調整を行った。駐輪場の整備を優先的に実施</p>	<p>野川柿生線沿道の景観整備(全体整備区間は洗足学園から区役所まで)について、駅広工事との調整を図りながら、18年度は岡家から駅方向100mの区間、19年度は区役所側200mの区間、20年度は残りの区間を対象に、街路樹、花壇等の緑化を推進することとし、関係局との合意形成を図り、サマレビューでの調整を行った。18年度予算要求で緑化工事に伴う経費を計上し、オ・タムレビューでの調整を行った。18年度実施</p> <p>17年度中に区民意見を反映させた景観整備基本計画を策定するため、フォーラムを開催する。17年度実施</p> <p>駅広工事で消失する駐輪場について、今後の増加要因にも対応した代替の駐輪場を、工事開始までに整備することが重要な課題となっている。18年度検討</p>	<p>18年度に、河川管理用地における親水公園的な整備(フェンスの見直しやベンチ、水飲み場、東屋の設置等)に向けた検討を行うとともに、周辺の緑地保全に向けた検討を行い、地域一帯の環境整備に関する基本計画を策定することとし、関係局との合意形成を図り、サマレビューでの調整を行った。18年度予算要求で計画策定に伴う経費を計上し、オ・タムレビューでの調整を行った。18年度実施</p> <p>18年度に区民意見を反映させた環境整備基本計画を策定するため、ワークショップを開催する。18年度実施</p> <p>円筒分水の補修について、19年度の保存工事実施を目的に予定を繰り上げ、18年度は劣化調査と補修方法の検討等を行うこととし、関係局及び東京電力との合意形成を図り、サマレビューでの調整を行った(18年9月東電の鉄塔撤去予定)。18年度予算要求で調査等に伴う経費を計上し、オ・タムレビューでの調整を行った。18年度実施</p>	<p>区で購入して貸与しているパトロール用品の配布について、18年度には全市レベルでの取組として実施してもらうため、関係局との合意形成を図り、サマレビューでの調整を行った。区独自の対応としては、従来のベスト、腕章などに加え指示灯など新たな用品の貸与等に伴う経費を18年度予算要求で計上し、オ・タムレビューでの調整を行った。18年度実施</p> <p>地域で発生する様々な犯罪の防止を目指し、区民と行政が総ぐるみで取り組む「高津区安全・安心まちづくり推進協議会」を、11月18日に設立した。</p> <p>安全・安心なまちづくりに向けて、「防犯」をテーマに取りあげた市政だより高津区版特別号第2号を、11月1日に発行した。</p>	<p>地域における子ども・子育て支援の充実、強化を目指して、18年度予算要求で、ネットワーク会議の開催や、携帯コンテンツの開設など情報提供機能の充実に向けた関連経費を計上し、オ・タムレビューでの調整を行った。18年度実施</p> <p>地域の課題解決に区民と協働で取り組むため、区内の活動団体から事業提案を募り実施してもらう「区民協働事業提案制度」を18年度に創設する。18年度実施</p>